

株式会社 バイカ・セラピューティクス

理 念

家族の一員である伴侶動物 にも人と同等の医療を！

- 犬・猫等の小動物は、今日では家族の一員・人生の伴侶として多くの人々にとって欠くことのできない存在になっている。
- 人用医薬品は犬猫を含む多くの実験動物の尊い命の犠牲の上に開発されたものであるが、人用医薬品の革新的進歩(バイオ医薬、分子標的薬、腫瘍免疫薬など)の恩恵が動物には届いていない。
- 同じ環境で生きる伴侶動物は人と同様に疾病を患い、伴侶動物用の医療ニーズは高まっている。

事業目的(社会的課題の解決)

最先端技術を駆使して 伴侶動物の医療を革新する！

- ヒト用バイオ医薬品に相当する伴侶動物用医薬品の創製は技術的に可能であるが、市場規模が小さいために研究開発は沈滞している。
- 市場拡大を阻む主要な要因は、飼主が納得できる『優れた費用対効果』の実現が困難なためである。
- 伴侶動物の医療と福祉の向上を最優先に考え、保有する最先端のバイオテクノロジー技術で『優れた費用対効果』を実現し、世界の伴侶動物医療を革新する。